

平成29年12月21日

塩田まちづくり協議会
会長 龍野 藤人 様

塩田地域協議会
会長 山極 一雄

自主防災に関する調査検討及び活動の実施について（依頼）

塩田地区の住民が身近な課題を自主的に解決し、住みよいまちづくりを行うことを目的として、平成29年6月に貴協議会が設立され活動がスタートしました。会長はじめ役員の皆様のご労苦をお察し申し上げますが塩田地区住民のためよろしくお願い申し上げます。

さて、塩田地区は全国有数の少雨乾燥地帯であり、また、地震被害も少ない地区であるため、住民の災害に対する意識も比較的薄いのではないかと懸念しているところです。

近年は地球温暖化による気候変動がもたらす災害の発生件数が増加する傾向にあり、全国的にゲリラ豪雨や勢力の強い台風の上陸など顕著になってきております。一方、地震災害につきましても、東日本大震災や熊本地震は甚大な被害をもたらし、また、糸魚川 静岡構造線断層帯で高い発生確率が想定され、上田市では最大震度7が想定されています。

最近では九州北部豪雨により多くの犠牲者が出ており、災害はいつ起きてもおかしくないことを認識する必要があることはいうまでもありません。

そこで、当協議会においては、自主防災のあり方について、塩田地区の各自治会へアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて検討を行ってまいりました。

この地域は全国的に見ても災害が少ないこともあってか住民の防災意識も低いのが現状であり、今後は様々な活動を通して災害に備えたり、住民の防災意識を高めていくことが必要であると痛感しております。

そのため、貴協議会防災安全部会において、下記事項の実施をご検討下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 自治会における自主防災組織が活動可能となるような組織の在り方について情報提供を行う。

<理由>

自主防災組織が自治会役員等の充て職で任期も1年が多く、また自治会業務が多忙なため机上の組織となっている。

2. 被災初期段階における情報伝達、給水・給食、避難誘導などの在り方について、研修、事例発表などの機会を通じて自治会へ情報提供を行う。

<理由>

ほとんどの自治会において、消火訓練程度しか行われておらず、その他の訓練の知見を有していない。

3. 一自治会では困難な講習会・研修会、防災訓練などについて、定期的実施していく。

<理由>

図上訓練・避難所運営訓練など多くの知見を要する訓練は、一自治会では習得する機会もなく、また大規模な災害も想定すると自治会を超えた規模での訓練が必要であること。

塩田地域協議会 事務局
塩田地域自治センター
電 話 38 - 3000
F A X 38 - 7878